



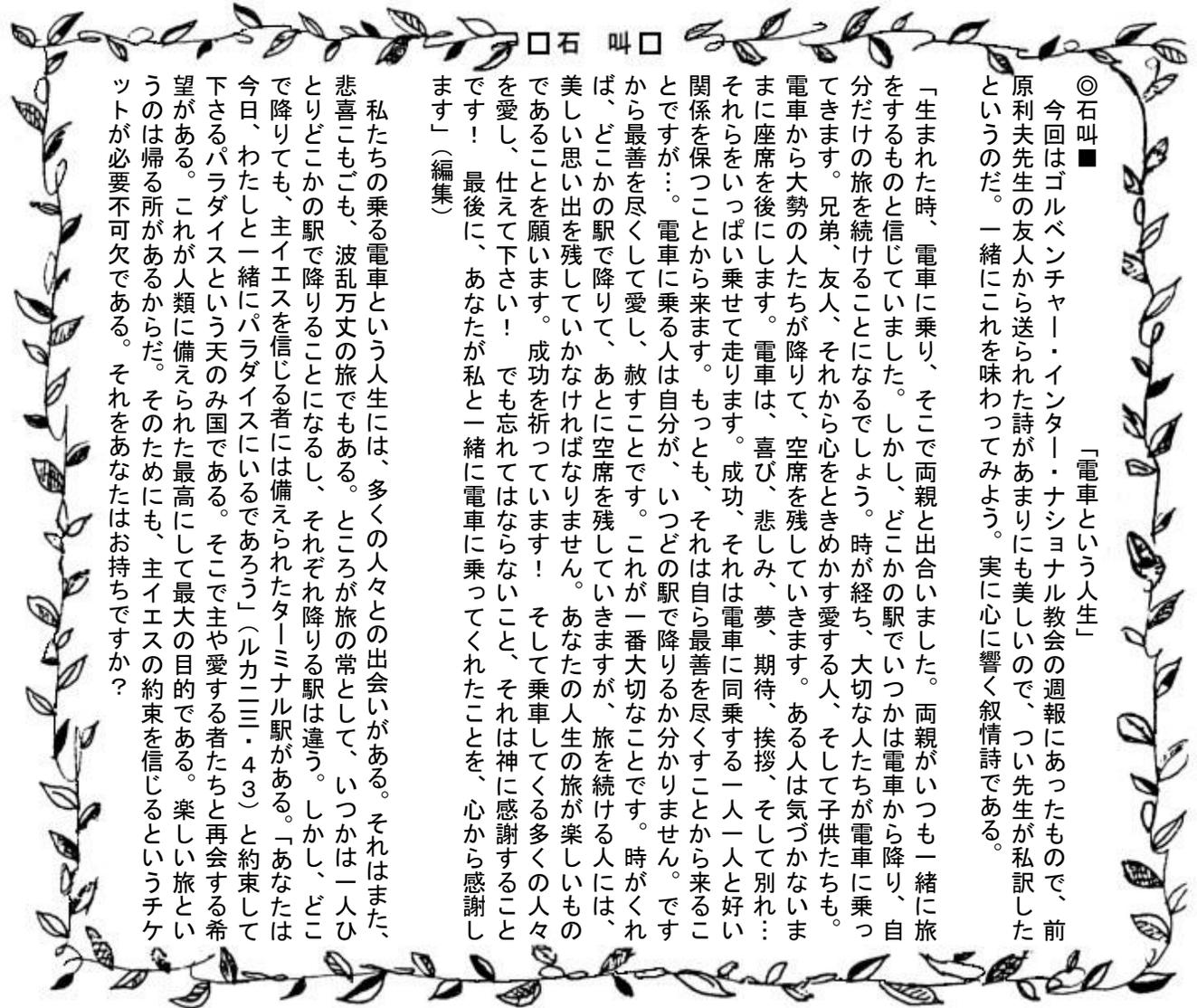
北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630



◎石叫 ■ 「電車という人生」

今回はゴルベンチャー・インター・ナショナル教会の週報にあったもので、前原利夫先生の友人から送られた詩があまりにも美しいので、つい先生が私訳したというのだ。一緒にこれを味わってみよう。実に心に響く叙情詩である。

「生まれた時、電車に乗り、そこで両親と出合いました。両親がいつも一緒に旅をするものと信じていました。しかし、どこかの駅でいつかは電車から降り、自分だけの旅を続けることになるでしょう。時が経ち、大切な人たちが電車に乗ってきます。兄弟、友人、それから心をとぎめかす愛する人、そして子供たちも電車から大勢の人たちが降りて、空席を残していきます。ある人は気づかないままに座席を後にします。電車は、喜び、悲しみ、夢、期待、挨拶、そして別れ；それらをいっぱい乗せて走ります。成功、それは電車に同乗する一人一人と好い関係を保つことから来ます。もっとも、それは自ら最善を尽くすことから来ることです。電車で乗る人は自分が、いつどの駅で降りるか分かりません。ですから最善を尽くして愛し、赦すことです。これが一番大切なことです。時がくれば、どこかの駅で降りて、あとに空席を残していきますが、旅を続ける人には、美しい思い出を残していかなければなりません。あなたの人生の旅が楽しいものであることを願います。成功を祈っています！そして乗車してくる多くの人々を愛し、仕えて下さい！でも忘れてはならないこと、それは神に感謝することです！最後に、あなたが私と一緒に電車に乗ってくれたことを、心から感謝します」(編集)

私たちの乗る電車という人生には、多くの人々との出会いがある。それはまた、悲喜こもごも、波乱万丈の旅でもある。ところが旅の常として、いつかは一人ひとりでどこかの駅で降りることになるし、それぞれ降りる駅は違う。しかし、どこで降りても、主イエスを信じる者には備えられたターミナル駅がある。「あなたは今日、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」(ルカ二三・43)と約束して下さるパラダイスという天のみ国である。そこで主や愛する者たちと再会する希望がある。これが人類に備えられた最高にして最大の目的である。楽しい旅というの帰る所があるからだ。そのためにも、主イエスの約束を信じるというチケットが必要不可欠である。それをあなたはお持ちですか？

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

